

部門紹介～ 外来看護師 ～・研究大会

外来看護師長 粕谷美貴子



当院は東京都北多摩南部地区に位置する103床を有する2次救急医療機関です。外来での診療科は内科・整形外科・外科・泌尿器科であり、一日平均約270人前後の患者様の診察を行っています。

救急外来では「なるべく断らない」をモットーに年間700件以上の救急車を受け入れて

ており、武蔵野市における2次救急病院としての役割を果たしています。

当院は2006年に訪問診療を開始しました。現在医師5名・看護師5名・事務・MSWでチームを組み、約100名の患者様に在宅医療を提供しています。超高齢社会の進展に伴い、訪問診療の重要性は年々増加しています。自宅にいながらも適切な医療を受けることが出来、心配なときにいつでも医師・看護師と連絡が取れる環境を作ることで、疾病を持った高齢者が住み慣れた地域で自分らしく最期まで葬らすことの支援に繋がっています。訪問診療科は地域のケアマネージャーや訪問看護師、高齢者総合センター、調剤薬局などと連携をとりながら、一人一人の個性に合わせた在宅医療をより多くの患者様に提供していきたいと考えています。訪問診療を希望される方はお気軽に医師・看護師にご相談ください。

さて、私たち外来看護師は、昨年度より「**なんでも相談コーナー**」を開設いたしました。これまで医師には聞きづらい病気のことを質問しに来た方、一人葬しで寂しいからとお話をしに来た方、家庭用血圧計の使い方がわからないから教えて欲しいという方など、様々な患者様にご利用頂いています。傾聴・励まし・理解・助言だけではなく、必要時は関連部署への橋渡しを行い、患者様やご家族の心身の苦痛の軽減に努めてまいります。相談コーナーを通じて、陽和会病院の看護師は相談しやすい、話しかけやすいと感じていただき、少しでも外来看護師が病院と地域の架け橋になれば良いと考えています。

当院の15名の外来看護師は皆、仕事と家庭を両立して看護業務に従事しております。これまでの経験を生かし、患者様に優しく親身になって対応することを大切に、これからも継続して看護の質とサービスの向上に努めてまいります。どうぞ武蔵野陽和会病院を宜しくお願いします。

研究大会



2019年2月21日～22日、回復期リハビリテーション病棟協会「第33回研究大会 in 舞浜・千葉」が開催されました。

松本健一理学療法士が「当院回復期リハビリテーションにおける透析患者の退院先についての調査—在宅退院

困難となった症例の要因検討」、久保田貴子看護師が「手指消毒剤使用量増加へのアプローチ—皮膚保護クリーム使用による手洗い指数の調査」、川上奈津季看護助手が「回復期リハビリテーション病棟の離床時間の過ごし方—ラジオ体操を導入して」これら3題の研究発表をおこなってきました。



3F 病棟看護師長 下山弘恵